

第3回NRC全国キャラクター調査

【Part1:ご当地キャラクター編】

2016年10月調査結果



日本リサーチセンター

Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1

TEL:03-6667-3400(代) FAX:03-6667-3470

<http://www.nrc.co.jp/>

日本では、マンガやアニメなどに登場するキャラクター人気が高く、キャラクターを商品化したビジネスも盛況である。キャラクター市場の実態として、どのようなキャラクターが認知され、好感をもたれているだろうか？

「ご当地キャラクター・企業キャラクター」「マンガ・アニメ・ゲームキャラクター」「日本・海外の有名キャラクター」の3つのジャンルごとに合計96種類のキャラクターを聴取した中で、本レポートでは「ご当地キャラクター」の20種類について、認知度と好感度を質問した結果を紹介する。

なお、本調査は、「第2回NRC全国キャラクター調査」に続く第3回調査であり、日本全国の15～79歳男女を対象に、訪問留置法という手法で、2016年10月5日～17日に実施した。

（エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割りつけており、全体数字は、エリアや年代で偏りがない結果となっている）

本調査は、全部で96種類のキャラクターについて、認知度、好感度を聴取している。（キャラクターの画像提示はなし）

ご当地キャラクター	20キャラ
企業キャラクター	12キャラ
日本のキャラクター	10キャラ
海外のキャラクター	22キャラ
マンガ・アニメキャラクター	24キャラ
ゲームキャラクター	8キャラ
合 計	96キャラ

調査結果 サマリー

■「くまモン」と「ふなっしー」は全国的に高い認知度、「くまモン」はさらに好感度が上昇。

- ◆ 認知度のトップ3は「くまモン」「ふなっしー」「せんとかん」、好感度のトップ3は「くまモン」「ふなっしー」「ひこにゃん」。
- ◆ 「くまモン」「ふなっしー」は、全96キャラクターの中でみても、好感度が1位、2位と高い。
- ◆ 2015年と2016年での好感度ランキングを比較すると、「くまモン」が「ふなっしー」を抜いて1位。熊本地震に対する支援活動の影響が伺える。
- ◆ 2015年『ゆるキャラグランプリ』1位の「出世大名家康くん」は12%→18%、2位の「みきゃん」は7%→10%、3位の「ふっかちゃん」は10%→13%といずれも認知率がアップ。
- ◆ 2016年『ゆるキャラグランプリ』1位の「しんじょう君」の本調査での認知度は3%で、好感度は1%。ともに今後が期待される。

■エリア別でみると、「くまモン」はほとんどのエリアで認知度、好感度ともに1位。

- ◆ 「くまモン」の認知度は5エリア中3エリアで1位、好感度は全エリアで1位もしくは1位タイと人気が全国区。
- ◆ 「くまモン」「ふなっしー」以外で好感度上位5位をみると、北海道・東北ではご当地の「メロン熊」「むすび丸」、関東では「ぐんまちゃん」「さのまる」、中部・北陸では「出世大名家康くん」「オカザえもん」、近畿では「ひこにゃん」「ちっちゃいおっさん」、中国・四国・九州では「バリィさん」「みきゃん」がランクイン。

■性・年代別の好感度では、男性40代以上、女性30代以上で「くまモン」が1位、「ふなっしー」は男性30代以下、女性20代以下で1位。

- ◆ 男性の認知度は40代を除いて「くまモン」が1位で、「ふなっしー」が2位。女性では15～29才は「くまモン」「ふなっしー」が1位タイだが、40代以下は「ふなっしー」、50代以上は「くまモン」が1位となる。
- ◆ 男性の好感度は40代以上では「くまモン」が1位で、30代以下では「ふなっしー」が1位。女性の好感度は、15～29才を除いて「くまモン」が1位、「ふなっしー」が2位。

2016年認知度ランキングは、1位「くまモン」、2位「ふなっしー」が2強で、3位が「せんとかん」。「ひこにゃん」はわずかに及ばず4位。
2016年好感度ランキングは、1位「くまモン」、2位「ふなっしー」、3位「ひこにゃん」。

- 20種類のご当地キャラクターの中では、認知度上位は「くまモン」「ふなっしー」が9割超で2強。3位は「せんとかん」で、僅差の4位が「ひこにゃん」。
5位以下は「ちっちゃいおっさん」「ぐんまちゃん」「メロン熊」が続く。
- 好感度上位は、1位が「くまモン」38%、2位が「ふなっしー」32%。3位「ひこにゃん」15%と上位2キャラクターの好感度には差がある。
4位以下は「バリィさん」「ぐんまちゃん」「ちっちゃいおっさん」「せんとかん」が続く。

2016年 認知度ランキング



2016年 好感度ランキング



2016年全キャラクター内での認知度ランキングでは、「くまモン」が8位、「ふなっしー」が10位。

2016年全キャラクター内での好感度ランキングでは、人気アニメキャラクターなどを抑えて、「くまモン」が1位、「ふなっしー」が2位。

■96種類のキャラクターを提示した結果での認知度ランキングでは、「くまモン」が8位、「ふなっしー」が10位とトップ10にランクイン。

■好感度ランキングでは、ご当地キャラの「くまモン」「ふなっしー」が1位、2位。

認知度

	ご当地キャラ 20内ランキング	全96キャラ内 ランキング	認知度
くまモン		8位	93%
ふなっしー		10位	91%
せんとくん		41位	68%
ひこにゃん	4位	45位	67%
ちっちゃいおっさん	5位	74位	38%
ぐんまちゃん	6位	77位	36%
メロン熊	7位	78位	32%

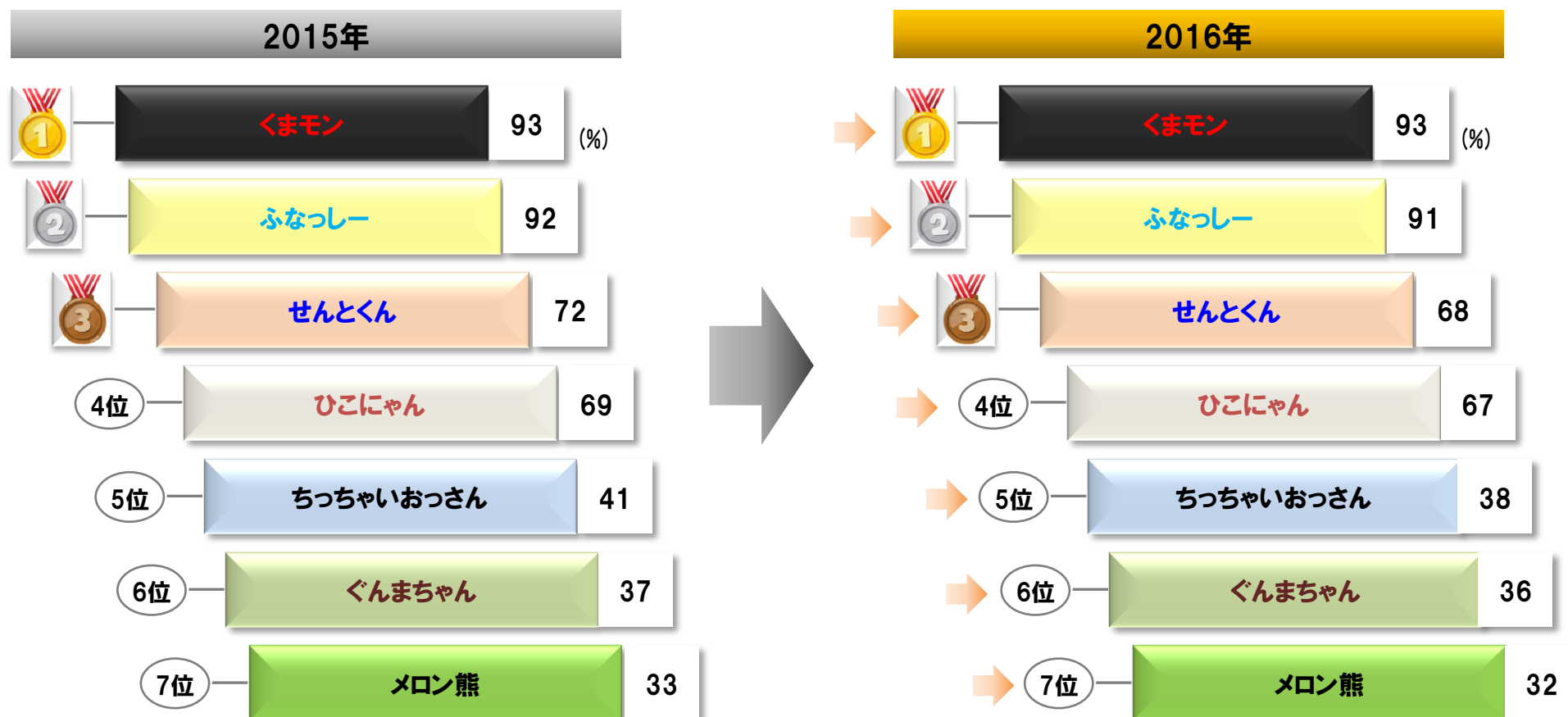
好感度

	ご当地キャラ 20内ランキング	全96キャラ内 ランキング	好感度
くまモン			38%
ふなっしー			32%
ひこにゃん		23位	15%
バリィさん	4位	53位	7%
ぐんまちゃん	5位	54位	7%
ちっちゃいおっさん	6位	62位	6%
せんとくん	7位	69位	5%

2015年と2016年での認知度ランキングを比較すると、上位キャラクターに変化はない。

■2015年と2016年での認知度ランキングを比較すると、1位「くまモン」、2位「ふなっしー」、3位「せんとかん」と変化はない。
4位から7位までのキャラクターも変化はない。

認知度



2015年と2016年での好感度ランキングを比較すると、「くまモン」が「ふなっしー」を抜いて1位。熊本地震に対する支援活動の影響が伺える。

■2015年と2016年での好感度ランキングを比較すると2015年に2位だった「くまモン」が「ふなっしー」を抜いて1位にアップ。「ひこにゃん」は3位をキープ。4位以下は混戦で、「バリィさん」が4位にランクアップ。

好感度



調査結果 詳細

全国的に最も認知されているご当地キャラは、「くまモン」と「ふなっしー」で、認知度はともに90%強。

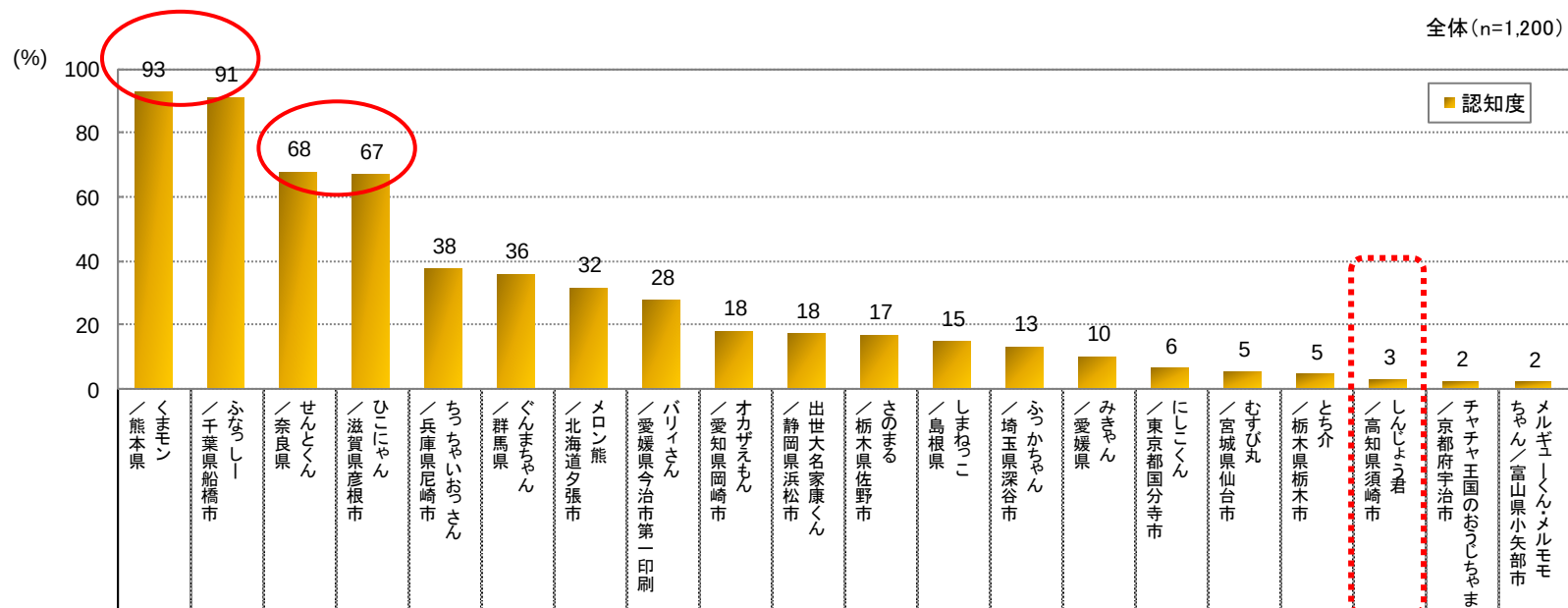
■20種類のご当地キャラを提示した結果である。認知度が最も高かったのは、「くまモン」と「ふなっしー」で、ともに9割を超えている。

次に、「せんとかん」が68%、「ひこにゃん」が67%と続く。全体で(全国で)認知度が5割を超えているのは、これら4キャラのみ。

■また『ゆるキャラグランプリ2016』1位の「しんじょう君」は、本調査の認知度は3%と低かったが、今後はグランプリ優勝により知名度のアップが期待される。

問. 次の「ご当地キャラ」のうち、あなたをご存知のものはどれですか。知っているものをすべてお知らせください。(○はいくつでも)

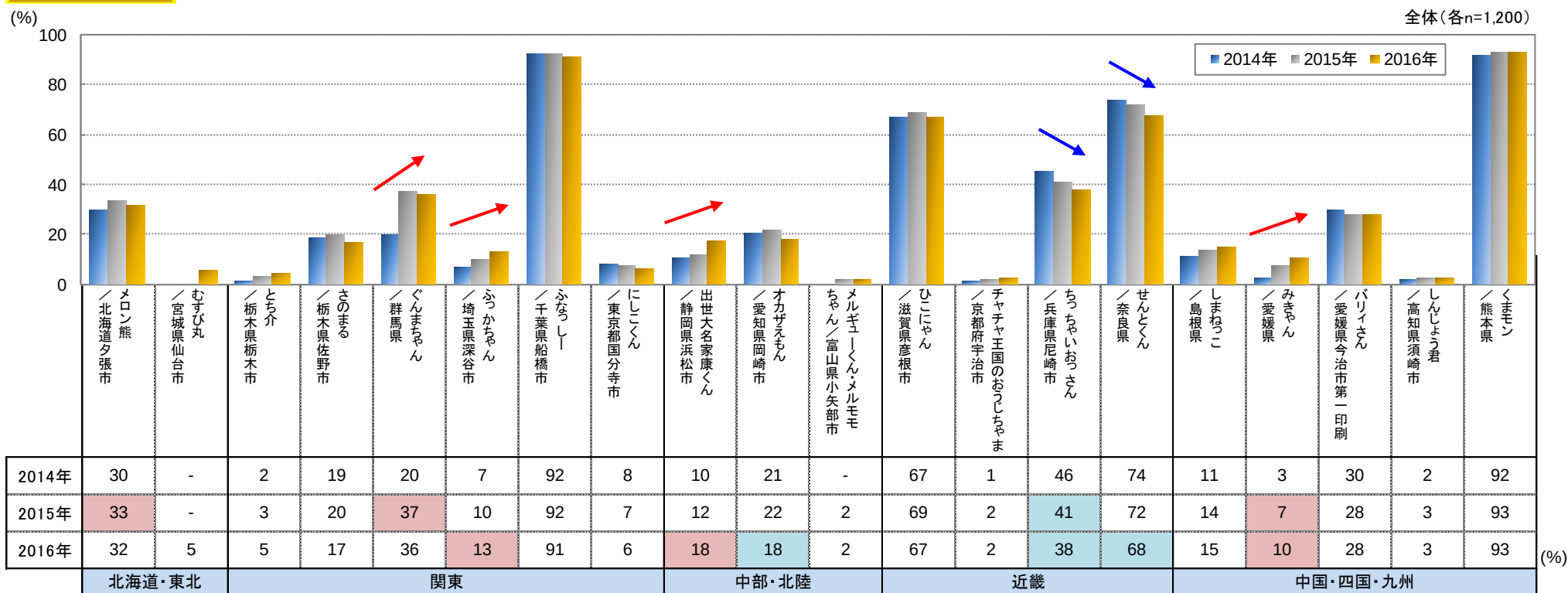
2016年
認知度



2014年からの時系列でみると、認知度が大きく上昇しているのは『ゆるキャラグランプリ』で上位入賞した翌年前後。『ゆるキャラグランプリ』の影響力の高さが伺える。

- 2014年からの時系列でご当地キャラの認知度を比較した結果である。認知度2強の「くまモン」「ふなっしー」は常に9割をキープ。
- 『ゆるキャラグランプリ』2014年優勝の「ぐんまちゃん」は2015年に、2015年1位～3位の「出世大名家康くん」「みきゃん」「ふっかちゃん」は2016年もしくは2015年に認知度が上昇している。
- 「せんとくん」「ちっちゃいおっさん」は時系列で認知度が低下傾向。

認知度

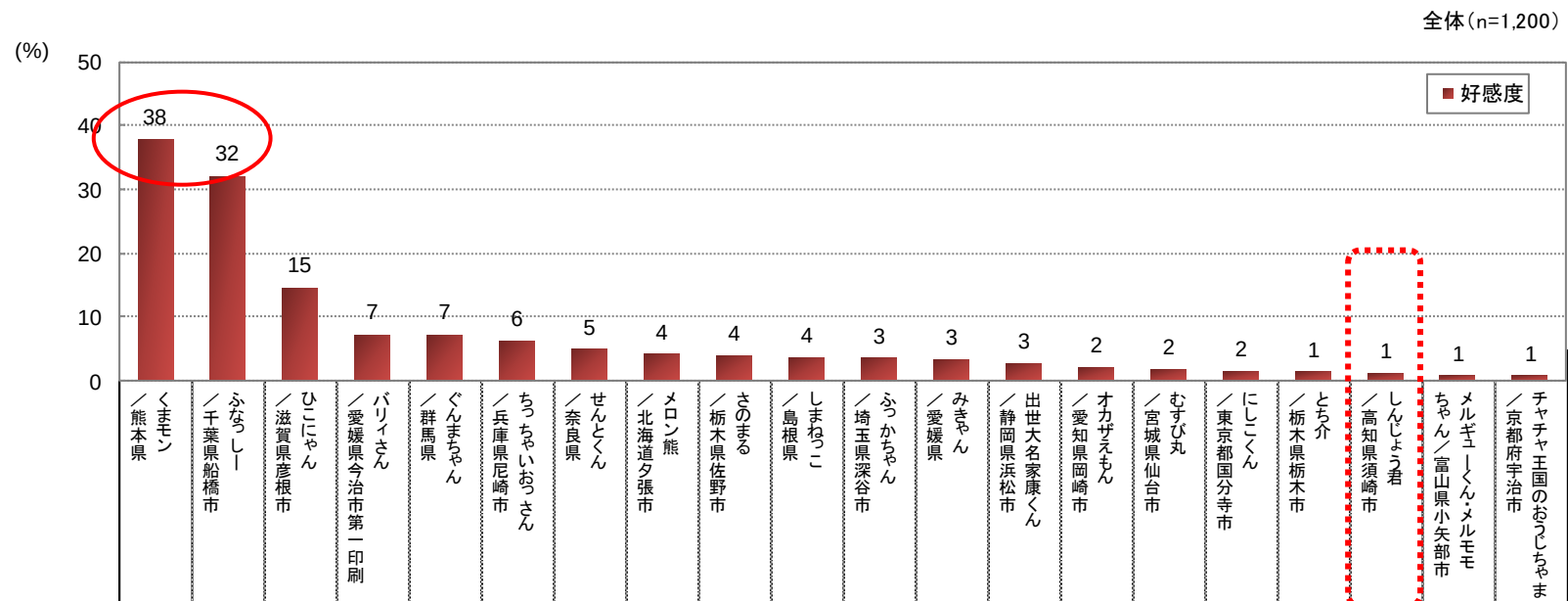


「ふなっしー」と「くまモン」の好感度が、32～38%と高い。

- 好きなご当地キャラはどれかを聞いた結果では、「くまモン」が38%で1位、「ふなっしー」は6ポイント差をつけられ32%で2位。
- また『ゆるキャラグランプリ2016』1位の「しんじょう君」の好感度は1%と低かったが、今後はグランプリ優勝の影響が注目される。

問. そのうち、あなたがお好きな「ご当地キャラ」はどれですか。(〇はいくつでも)

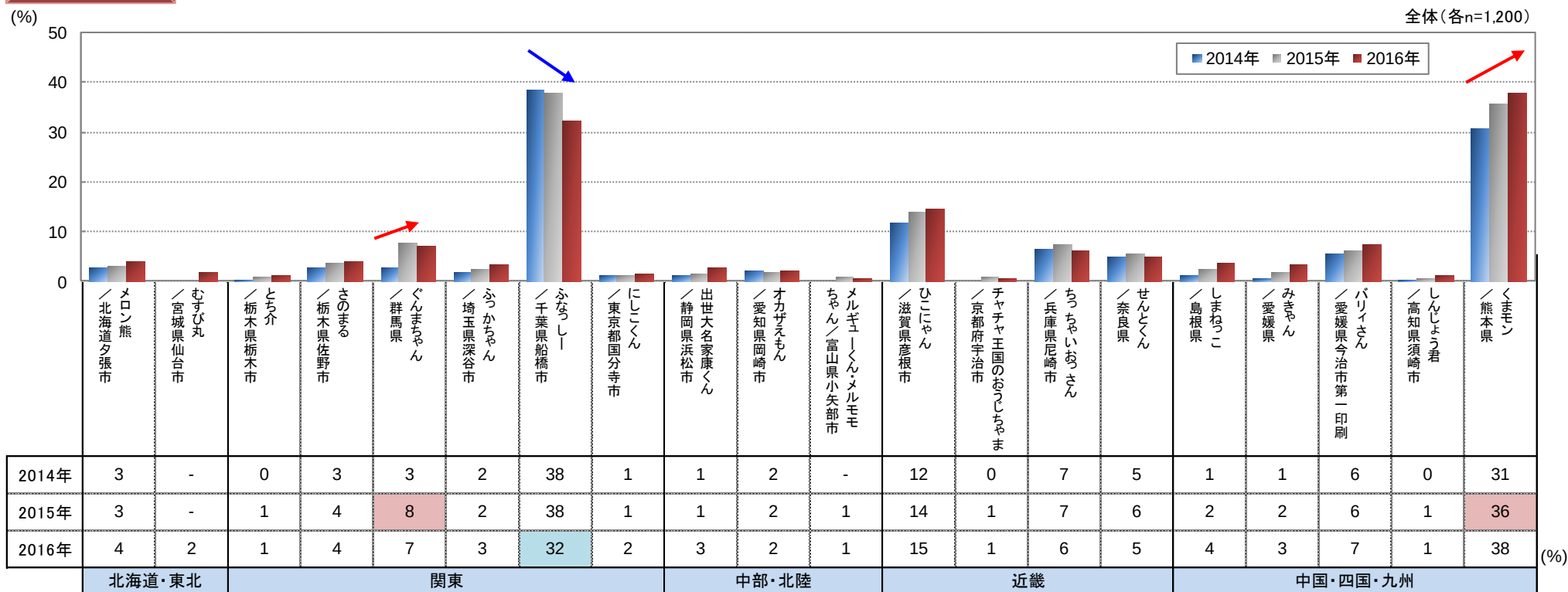
2016年
好感度



2014年からの時系列でみると、「くまモン」の好感度は年々上昇する一方、「ふなっしー」は2015年から2016年で低下。

- 2014年からの時系列でご当地キャラの好感度を比較した結果である。「くまモン」は年々好感度が上昇する一方、「ふなっしー」は2015年から2016年で好感度が低下している。
- 最近の『ゆるキャラグランプリ』上位入賞キャラクターの中では「ぐんまちゃん」の好感度が比較的高いものの、他のキャラクターの好感度はあまり高くない。

好感度



エリア別に2016年の認知度をみると、3エリアで「くまモン」が1位。2エリアで「ふなっしー」が1位。

■「くまモン」は関東、中部・北陸、中国・四国・九州で1位、北海道・東北、近畿では「ふなっしー」が1位だが、1位と2位は僅差。しかし、中国・四国・九州では「くまモン」が「ふなっしー」を6ポイント上回っている。

■北海道・東北ではご当地の「メロン熊」、関東では「ぐんまちゃん」、中部・北陸では「オカザえもん」、近畿では「ひこにゃん」「ちっちゃいおっさん」、中国・四国・九州では「バリィさん」が上位5位にランクイン。

北海道・東北エリア



関東エリア



中部・北陸エリア



近畿エリア



中国・四国・九州エリア



全 体



エリア別に2016年の好感度をみると、全エリアで「くまモン」が1位。

■「くまモン」は全エリアで1位もしくは1位タイ、「ふなっしー」は北海道・東北では1位タイだが、他のエリアでは2位。「くまモン」はご当地の中国・四国・九州では2位の「ふなっしー」に15ポイントも差をつけている。

■北海道・東北ではご当地の「メロン熊」「むすび丸」、関東では「ぐんまちゃん」「さのまる」、中部・北陸では「出世大名家康くん」「オカザえもん」、近畿では「ひこにゃん」「ちっちゃいおっさん」、中国・四国・九州では「バリィさん」「みきちゃん」が上位5位にランクイン。

北海道・東北エリア



関東エリア



中部・北陸エリア



近畿エリア



中国・四国・九州エリア



全 体



男性の年代別に2016年の認知度をみると、40代を除いて「くまモン」が1位で、「ふなっしー」が2位。

■「くまモン」は15～29才、30代、50代、60代、70代で1位、「ふなっしー」は40代で1位、他の年代では2位または1位タイ。

■「ひこにゃん」「せんとかん」はどの年代でも上位5位にランクイン。「メロン熊」は30代以下で、「バリィさん」は30代で、「ちっちゃいおっさん」は30代、40代で、「ぐんまちゃん」は50代、60代で、「出世大名家康くん」は70代でランクイン。

男性 15～29才



男性 30代



男性 40代



男性 50代



男性 60代



男性 70代



女性の年代別に2016年の認知度をみると、15～29才は「ふなっしー」「くまモン」が1位タイだが、40代以下は「ふなっしー」、50代以上では「くまモン」が1位。

■「ふなっしー」は15～29才、30代、40代で1位、「くまモン」は15～29才、50代、60代、70代で1位。

■「ひこにゃん」「せんとかん」はどの年代でも上位5位にランクイン。「ちっちゃいおっさん」は40代以下、60代で、「ぐんまちゃん」は50代、70代で、「メロン熊」は70代でランクイン。

女性 15～29才



女性 30代



女性 40代



女性 50代



女性 60代



女性 70代



男性の年代別に2016年の好感度をみると、40代以上で「くまモン」が1位で、30代以下では「ふなっしー」が1位。

■「くまモン」は40代、50代、60代、70代で1位、「ふなっしー」は15～29才、30代で1位。

■「ひこにゃん」はどの年代でも上位5位にランクイン。「ちっちゃいおっさん」は15～29才、50代、60代で、「メロン熊」は30代以下と70代で、「バリィさん」は40代以下で、「せんとかん」は40代、70代で、「さのまる」は30代で、「ぐんまちゃん」は50代以上でランクイン。

男性 15～29才



男性 30代



男性 40代



男性 50代



男性 60代



男性 70代



女性の年代別に2016年の好感度をみると、15～29才を除いて「くまモン」が1位、「ふなっしー」が2位。

■「くまもん」は30代、40代、50代、60代、70代で1位、「ふなっしー」は15～29才で1位で、他の年代では2位。

■「ひこにゃん」はどの年代でもランクイン。「バリィさん」は15～29才、30代、50代、60代で、「ぐんまちゃん」は60代以下で、「ちっちゃいおっさん」は40代で、「出世大名家康くん」「せんとかん」は60代以上でランクイン。

女性 15～29才



女性 30代



女性 40代



女性 50代



女性 60代



女性 70代



調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
- ※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付をおこなった

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当て

調査期間

- 2016年10月調査 2016/10/5 ～ 2016/10/17（過去調査は2014年、2015年いずれも10月に実施）

分析サンプル数

【性別】

男 性	596
女 性	604

【エリア別】

北海道・東北	144
関 東	432
中部・北陸	192
近 畿	192
中国・四国・九州	240

【年代別】

男性 15～29才	112
30～39才	97
40～49才	109
50～59才	92
60～69才	109
70～79才	77
女性 15～29才	108
30～39才	97
40～49才	105
50～59才	91
60～69才	113
70～79才	90

(人)

NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先: 日本リサーチセンター広報室 メール: information@nrc.co.jp

掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。